

# 歯科補綴学 1

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)， 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

## 歯科補綴学導入

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習ユニット 学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害に対する機能回復を目的とした基本的な診断と治療計画の立案が行えるために必要な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、會田 雅啓、大久保 昌和、飯島 守雄、伊藤 誠康、木本 統、中田 浩史、林 幸男、石井 智浩、神谷 和伸、矢崎 貴啓、池口 伸之、伊藤 菜那、井上 正安、植木 克昌、小出 恭代、佐藤 貴信、末光 弘宜、義隆 淑子
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版 細井紀雄ほか 編 医歯薬出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版 三谷春保ほか 編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 日本口腔顔面痛学会編 医歯薬出版
参考図書	新編 顎関節症 日本顎関節学会編 永末書店 TMDを知る 改訂第2版 井川雅子ほか クインテッセンス出版
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)， 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学、補綴歯科治療の意義・目的 補綴学1オリエンテーション	<p>【授業の一般目標】 補綴治療を円滑に行うために補綴治療の役割と患者への貢献に関する知識および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる。 2. 補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 3. 補綴歯科治療の利益と不利益を説明できる。 4. 補綴歯科治療に関連する疫学を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 特になし</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 ア 生物学的要件 イ 機能的要件 ウ 形態的要件</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学、補綴 歯科治療の意義・ 目的 補綴学1オリエン テーション	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄
2014/04/01 (火) 3時限 13:00～14:30	補綴歯科治療に関 わる顎口腔系の障 害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面痛を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。  【準備学習項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 キ ブラキシズム  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和
2014/04/01 (火) 4時限 14:40～16:10	補綴歯科治療に関 わる顎口腔系の障 害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面痛を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。  【準備学習項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 キ ブラキシズム  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和
2014/04/08 (火) 3時限 13:00～14:30	口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる ために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔外診察	<p>2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p> <p>3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/08 (火) 4時限 14:40~16:10	口腔外診察	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/15 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔内診察	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/15 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔内診察	<p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/15 (火) 4時限 14:40~16:10	口腔内診察	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/22 (火) 3時限 13:00~14:30	唾液検査	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために唾液検査を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 唾液の性状と役割を説明できる。 2. 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 3. 口腔乾燥を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/22 (火) 3時限 13:00~14:30	唾液検査	<p>イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】            歯科医学総論            総論IX 検査            1 口腔内検査・口腔機能検査            キ 唾液・唾液腺検査            歯科医学各論            各論VI 高齢者の歯科診療            1 1 唾液腺疾患            ア 口腔乾燥症</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。            E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患            E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能            *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】            E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常            *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)            *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/22 (火) 4時限 14:40~16:10	唾液検査	<p>【授業の一般目標】            歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために唾液検査を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】            1. 唾液の性状と役割を説明できる。            2. 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面の成長・発育および加齢による変化を説明できる。            3. 口腔乾燥を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】            クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習方略 (LS)】            実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            2 診察・検査・診断・前処置            イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】            歯科医学総論            総論IX 検査            1 口腔内検査・口腔機能検査            キ 唾液・唾液腺検査            歯科医学各論            各論VI 高齢者の歯科診療            1 1 唾液腺疾患            ア 口腔乾燥症</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療            *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。            E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患            E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能            *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】            E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常            *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)            *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/05/13 (火) 2時限 10:40~12:10	研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	<p>【授業の一般目標】            歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】            1. 印象採得の種類と方法を説明できる。            2. 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】            クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 2時限 10:40～12:10	研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	<p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑮研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/05/13 (火) 3時限 13:00～14:30	研究模型による診断：咬合採得・咬合器付着・診断	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 *⑪フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑫歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/05/13 (火) 4時限 14:40～16:10	研究模型による診断：咬合採得・咬合器付着・診断	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 4時限 14:40～16:10	研究模型による診断：咬合採得・咬合器付着・診断	<p>1. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑫歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 義子
2014/05/16 (金) 1時限 09:00～10:30	歯科補綴学導入・有床義歯補綴学平常試験（平常試験①）	<p>【授業の一般目標】 4/1～5/13に実施された（有床義歯および補綴学導入）の座学および実習に関する知識、技能および態度を修得する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 4/1～5/13の範囲の全SBOs</p> <p>【準備学習項目】 4/1～5/13（有床義歯および補綴学導入）の座学および実習の範囲。 実施時間は9時から50分の予定。</p> <p>【学習方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 ア 生物学的要件</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 イ 機能的要件 ウ 形態的要件 エ 力学的要件</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓

# 有床義歯補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	全部および部分無歯顎者の適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、成田 紀之、飯島 守雄、伊藤 誠康、大久保 昌和、木本 統、中田 浩史、林 幸男、石井 智浩、神谷 和伸、矢崎 貴啓、池口 伸之、伊藤 菜那、井上 正安、植木 克昌、小出 恭代、佐藤 貴信、末光 弘宜、義隆 淑子、西山 典宏
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版 細井紀雄・平井敏博・大川周治・市川哲雄 編著 医歯薬出版 総義歯補綴学実習便覧 第2版 有床義歯補綴学編 わかば出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版 三谷春保・小林義典・赤川安正 編 医歯薬出版 局部床義歯補綴学実習要綱 有床義歯補綴学編 有床義歯補綴学
参考図書	コンプリートデンチャーテクニック 第6版 細井紀雄・平井敏博・長岡英一・赤川安正・鈴木哲也・大川周治 編 医歯薬出版 バウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版 田中久敏・古谷野潔 ほか監訳/George A. Zarb ほか編著 医歯薬出版 Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients Feine, Jocelyne S.; Carlsson, Gunnar E Quintessence Publishing Co Inc パーシャルデンチャーの設計 David M Watt・A Roy MacGregor 著/小林義典 ほか訳 医歯薬出版 カラーアトラス 咬合・咀嚼障害の臨床 症例別にみた歯科補綴学的対応 細井紀雄・川和忠治・五十嵐順正・平井敏博 編 医歯薬出版 マクラッケン パーシャルデンチャー Davis Henderson・Victor L. Steffel 著/橋本京一 訳 医歯薬出版 床義歯の生理学 覚道幸男 学建書院 スタンダード歯科理工学 第5版 一生体材料と歯科材料 榎本貢三 中寫 裕 西山典宏 宮崎 隆 米山隆之 編集幹事 学建書院
評価方法 (EV)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均: 50%) , 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど: 50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	有床義歯補綴は高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが近年明らかになっています。今回の学習により多くの症例に対応できる基本を習得することを期待します。講義・実習ともに Web class を用いた予習・復習を必ず行ってください。また解剖学および歯科理工学の知識を整理しておくことで理解が深まります。今回の学習時の基礎とその後の生涯研修を通じて症例に対応できるよう常に実際の患者を意識して行ってください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 2時限 10:40～12:10	有床義歯の目的・歯の欠損の病因と病態・障害と症候、有床義歯の構成要素と適応症	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療が円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の病態、加齢変化についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎の病態について説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 4. 歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P6～43, 51～55P44～51</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 ア 口腔の形態・機能の変化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 イ 顎骨の形態変化 ウ 顔貌の変化 エ 顎関節の変化 オ 全身への影響</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	河相 安彦



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 2時限 10:40～12:10	有床義歯の目的・ 歯の欠損の病因と 病態・障害と症候、 有床義歯の構成要 素と適応症	E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	河相 安彦
2014/04/15 (火) 2時限 10:40～12:10	歯の欠損治療にお ける診察・検査	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療が円滑に行うために必要な総義歯および局部床義歯に関する構造と機能についての知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯および局部床義歯の構成要素を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。 3. 総義歯の種類と適応症を説明できる。 4. 有床義歯 (局部床義歯および総義歯) の維持・支持・安定・把持について説明できる。 5. 歯の欠損の治療のための医療面接について説明できる。  【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P56～75 歯学性のパーシャルデンチャーP. 14～20、35～47  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 イ 摂食・嚥下障害 ウ 発語・構音障害  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	河相 安彦 飯島 守雄
2014/04/22 (火) 2時限 10:40～12:10	歯の欠損に関する 治療計画の立案と 前処置	【授業の一般目標】 有床義歯の治療を円滑に行うために必要な治療計画の立案に関する知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎者に対する治療の到達目標と予後を説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎者に対する治療計画を左右する因子を説明できる。  【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P76～90  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦
2014/05/20 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。  【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P91～104	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2014/05/20 (火) 3時限 13:00～14:30	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上下顎無歯顎の概形印象採得を行うことができる 2. 無歯顎研究模型の調整ができる。 3. 無歯顎の個人トレーを調製できる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (1) 予備印象～ (3) 各個トレーの調製 WebClass 補綴学1 有床義歯補綴学実習 (総義歯実習デモ動画) 第1章～14章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/05/20 (火) 4時限 14:40～16:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上下顎無歯顎の概形印象採得を行うことができる 2. 無歯顎研究模型の調整ができる。 3. 無歯顎の個人トレーを調製できる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯実習便覧 [2] 印象調製 (1) 予備印象～ (3) 各個トレーの調製 WebClass 総義歯実習デモ動画 第1章～14章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 4時限 14:40～16:10	無歯顎の概形印象採得・研究模型・個人トレー	*⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/05/27 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の精密印象(1)	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P105～121</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2014/05/27 (火) 3時限 13:00～14:30	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング(1)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/05/27 (火) 4時限 14:40～16:10	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング(1)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/27 (火) 4時限 14:40～16:10	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング (1)	<p>1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/03 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の精密印象 (2) と作業用模型	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P105～121</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *②可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦
2014/06/03 (火) 3時限 13:00～14:30	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング (2)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 3時限 13:00~14:30	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング (2)	ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/03 (火) 4時限 14:40~16:10	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング (2)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる 【準備学習項目】 総義歯実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/10 (火) 2時限 10:40~12:10	顎間関係の記録 (1) 無歯顎の咬合床・咬合採得	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P135-P169 【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	木本 統
2014/06/10 (火) 3時限 13:00~14:30	作業模型のリリーフ・咬合床	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 3時限 13:00~14:30	作業模型のリリーフ・咬合床	<p>1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリーフができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [3] 作業模型 (2) ~ [4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章~45章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/10 (火) 4時限 14:40~16:10	作業模型のリリーフ・咬合床	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリーフができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章~46章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/13 (金) 1時限 09:00~10:30	顎間関係の記録 (2) 無歯顎の咬合採得・下顎運動記録	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴学P170-P187</p> <p>【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	木本 統
2014/06/17 (火) 2時限	総義歯の人工歯排列および総義歯の	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な人工歯排列に関する知識および</p>	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	歯肉形成	<p>び技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯補綴の治療過程における基本的手技ができる。 2. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P188～224</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2014/06/17 (火) 3時限 13:00～14:30	顎の対向関係位と咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [5] 顎の対向関係位の設定～ [8] 顎模型（咬合床）の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第47章～52章</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕夷 義隆 淑子
2014/06/17 (火) 4時限 14:40～16:10	顎の対向関係位と咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [8] 顎模型（咬合床）の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第50章～52章</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕夷 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合様式に関する 模型実習	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/24 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列 (上顎 前歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正～(3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/24 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列 (上顎 前歯・臼歯・下顎 臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 webClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第64章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/24 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列 (上顎 前歯・臼歯・下顎 臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/24 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列 (上顎前歯・臼歯・下顎臼歯)	<p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (4) 上顎臼歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第64章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	蝕義歯の試適、総義歯の埋没・重合、咬合器再装着	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯の仮床義歯の試適から埋没、重合およびリマウントまでの理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯補綴の治療過程における基本的手技ができる。 2. 有床義歯の重合法を説明できる。 3. 咬合器再付着の目的と手法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P188～224</p> <p>【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ク 蝕義歯の試適</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 サ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	木本 統
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列 (下顎臼歯・前歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (5) 削合間隙～ (6) 下顎臼歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第65章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2014/07/01 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。  【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (6) 下顎臼歯の排列～(7) 下顎前歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第65章～66章  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2014/07/01 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。  【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (7) 下顎前歯の排列 ()  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	様々な義歯による 治療法	【授業の一般目標】 有床義歯の適応症に応じて様々な義歯の治療法を選択するために必要な知識を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 金属床義歯・即時義歯・オーバーデンチャーの利点欠点を説明できる。 2. 金属床義歯・即時義歯・オーバーデンチャーの制作手順を説明できる。 3. オーバーデンチャーの支台歯の処置法を説明できる。 4. 顎顔面欠損の先天的・後天的欠損の臨床症状を説明できる。 5. 顎義歯の特徴を説明できる。  【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P270～310 歯学生のパーシャルデンチャーP259～290  【学習方略 (LS)】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	様々な義歯による 治療法	講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦
2014/07/08 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列（下顎 臼歯・前歯）・歯 肉形成・咬合調整	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列～[13] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第67章～69章 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/08 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列（下顎 臼歯・前歯）・歯 肉形成・咬合調整・ テンチのコアー	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 2. テンチのコアーを製作できる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [13] 人工歯の総合的削合法～[14] 歯齦（肉）形成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第68章～72章 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/08 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列（下顎 臼歯・前歯）・歯 肉形成・咬合調整・ テンチのコアー	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の製作の手順を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる 2. テンチのコアーを製作できる 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [15] テンチのコアー形成（歯型採得） WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第73章	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/08 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列(下顎臼歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整・デンチのコーア	<p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/11 (金) 1時限 09:00～10:30	有床義歯平常試験(平常試験③)	<p>【授業の一般目標】 5/20～7/4までの座学の範囲に関する知識と態度を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 5/20～7/4の全SBOs</p> <p>【準備学習項目】 5/20～7/4までの座学の範囲 実施時間は9時から50分を予定決、定次第案内する。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 ウ 作業模型の製作 エ 顎間関係の記録 オ 咬合器装着・調節 カ 人工歯の選択・排列・削合 キ 歯肉形成 ク 蠟義歯の試適 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	河相 安彦
2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義の目的と意義、適応症および種類	<p>【授業の一般目標】 部分歯牙欠損に対する歯科補綴治療の意義と方法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学性のパーシャルデンチャー P.70～73, 74～109</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 18 補綴歯科治療 ア 残存組織の変化とその対応 イ 咬合の変化とその対応</p>	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義の目的と 意義、適応症およ び種類	ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	飯島 守雄
2014/07/15 (火) 3時限 13:00～14:30	上下顎概形印象・ 研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために概形印象を採得し、研究用模型を製作できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。  【準備学習項目】 概形印象採得、研究模型製作  【学習場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目 (予備印象、 研究模型の調整)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/15 (火) 4時限 14:40～16:10	上下顎概形印象・ 研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために概形印象を採得し、研究用模型を製作できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。  【準備学習項目】 概形印象採得、研究模型製作  【学習場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目 (予備印象、 研究模型の調整)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の診査 治療計画 概形 印象と研究模型 サベイング	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために種々の検査と診査・診断について理解し、それに基づ いた治療計画の立案ができる。	河相 安彦 石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の診査 治療計画 概形 印象と研究模型 サベイング	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 模型のサベイングを行うことができる</li> <li>2. 局部床義歯製作に必要な検査・診査ができる。</li> <li>3. 治療計画の立案ができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 診査・診断と治療計画、サベイング、局部床義歯の設計</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP121～145, 169～187</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 石井 智浩
2014/07/22 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の症型 類型	<p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 局部床義歯の設計に有用な症型分類を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP79-83, 121-145, 169-174</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、到達度クイズ</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	大久保 昌和
2014/07/22 (火) 3時限 13:00～14:30	サベイング・設計 線の記入・個人ト レー	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにサベイング検査に基づいて義歯の設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下顎部分欠損のサベイングができる</li> <li>2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。</li> <li>3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。</li> <li>4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/22 (火) 3時限 13:00～14:30	サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/22 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにサベイング検査に基づいて義歯の設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/09/09 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の構成要素	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために構成要素について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 局部床義歯の設計原理を説明できる。 3. 口腔内診察・検査、研究用模型およびエックス線写真等に基づく設計ができる。</p> <p>【準備学習項目】 構成要素、支台装置、義歯床、人工歯、連結子</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	成田 紀之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/09 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の構成要素	歯学生のパーシャルデンチャーP70～120 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2014/09/09 (火) 3時限 13:00～14:30	局部床義歯の維持機構 支持機構 把持機構	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために維持装置について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 維持機構について説明できる。 2. 支持機構について説明できる。 3. 把持機構について説明できる。 【準備学習項目】 維持機構、支持機構、把持機構、支台装置 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP88-P109 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。	成田 紀之
2014/09/09 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング実技試験	【授業の一般目標】 残存組織の保護と咀嚼機能の回復に有用な局部床義歯の作成に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP 121～145, 169～174 【学習方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 カ サベイング	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の口腔内前処置 (広義・狭義)	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療計画を左右する因子を説明できる。 【準備学習項目】	大久保 昌和



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の口腔内前処置 (広義・狭義)	歯学生のパーシャルデンチャーP88-109, 137-145, 146, 150-157, 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 カ 前処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	大久保 昌和
2014/09/30 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の精密印象	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 2. 個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 3. 印象用材料について説明できる。 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP88-109, 158-168 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。	大久保 昌和
2014/09/30 (火) 3時限 13:00～14:30	支台歯に対する前処置・筋形成・精密印象・ボクシング・作業模型	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために支台歯に対する前処置を行い、筋圧形成と精密印象を採得することができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型 【学習場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (鉤歯の形成、筋形成、最終印象) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 3時限 13:00～14:30	支台歯に対する前処置・筋形成・精密印象・ボクシング・作業模型	害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/09/30 (火) 4時限 14:40～16:10	支台歯に対する前処置・筋形成・精密印象・ボクシング・作業模型	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために支台歯に対する前処置を行い、筋圧形成と精密印象を採得することができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を製作することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。  【準備学習項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型  【学習場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (歯歯の形成、筋形成、最終印象)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/07 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の直接維持装置・アタッチメント	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために支台 (維持) 装置について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の直接支台 (維持) 装置について説明できる。 2. 局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。  【準備学習項目】 支台 (維持) 装置、アタッチメント  【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP98～109, 198～212  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計  【コアカリキュラム】	成田 紀之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の直接維持装置・アタッチメント	E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2014/10/07 (火) 3時限 13:00～14:30	サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために作業模型にサベイングを行い、最終設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために設計線に基づいてブロックアウト・リリースを行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 4. 評価表第4回サベイング、設計、ブロックアウト・リリースにチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-classの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/07 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために作業模型にサベイングを行い、最終設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために設計線に基づいてブロックアウト・リリースを行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 4. 評価表第4回サベイング、設計、ブロックアウト・リリースにチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-classの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング・最終 設計・ブロックア ウト・リリース	5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/14 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の間接 維持装置・連結子	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために間接支台 (維持) 装置と連結子について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 間接維持について説明できる。 3. 大連結子について説明できる。 4. 小連結子について説明できる。  【準備学習項目】 間接支台 (維持) 装置、大連結子、小連結子  【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP175～197, 84～87  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2014/10/14 (火) 3時限 13:00～14:30	クラスプとリンガル バーのパターン 採得	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。  【準備学習項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ  【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/14 (火) 3時限 13:00~14:30	クラスプとリングアルバーのパターン採得	<p>*⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 伸之 池口 菜那 伊藤 正安 井上 克昌 植木 恭代 小出 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/14 (火) 4時限 14:40~16:10	クラスプとリングアルバーのパターン採得	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリングアルバーを製作することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リングアルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 クラスプ、リングアルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リングアルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 伸之 池口 菜那 伊藤 正安 井上 克昌 植木 恭代 小出 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/21 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯のフレームワークの製作、パターン採得および型ごと埋没	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの製作、パターン採得および型ごと埋没を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 2. フレームワークの使用金属を説明できる。 3. フレームワークの製作順序を説明できる。 4. クラスプパターン採得を説明できる。 5. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のバーチャルデンチャーP110-118, 175-191, 198-212</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	伊藤 誠康
2014/10/21 (火)	クラスプとリング	【授業の一般目標】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00～14:30	ルバーのパターン採得	<p>局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. クラスプパターンの採得ができる。</li> <li>2. リンガルバーのパターン採得ができる。</li> <li>3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。</li> <li>4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤーの屈曲）</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	<p>成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2014/10/21 (火) 4時限 14:40～16:10	クラスプとリンガルバーのパターン採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. クラスプパターンの採得ができる。</li> <li>2. リンガルバーのパターン採得ができる。</li> <li>3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。</li> <li>4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤーの屈曲）</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2014/10/28 (火) 2時限 10:40～12:10	パターンのリング埋没 鋳造	<p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パターンの埋没と鋳造ができる。</li> <li>2. クラスプとリンガルバーの研磨ができる。</li> <li>3. 評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>埋没、鋳造、研磨</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目（パターン植立、埋没、鋳造、研磨）</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 2時限 10:40～12:10	パターンのリング 埋没 鋳造	301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/28 (火) 3時限 13:00～14:30	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。  【行動目標（SBOs）】 1. パターンの埋没と鋳造ができる。 2. クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3. 評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。  【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨  【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目（パターン植立、埋没、鋳造、研磨）  【学習方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/28 (火) 4時限 14:40～16:10	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。  【行動目標（SBOs）】 1. パターンの埋没と鋳造ができる。 2. クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3. 評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。  【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨  【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目（パターン植立、埋没、鋳造、研磨）  【学習方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯のクラスプ・フレームワークの試適、アルタードキャスト印象法	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの試適とアルタードキャスト印象法と改造印象に関する知識および技能を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP110～120, 198～212</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 石井 智浩
2014/11/04 (火) 3時限 13:00～14:30	局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプの試適を行うことができる。 局部床義歯製作のために咬合床の製作を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第7・8回、鑄造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目 (咬合床作製)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/04 (火) 4時限 14:40～16:10	局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプの試適を行うことができる。 局部床義歯製作のために咬合床の製作を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 4時限 14:40～16:10	局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【学習場所・媒体等】 実習書第7・8回、鑄造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目（咬合床作製）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/11 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 局部床義歯の咬合床について説明できる。 3. 部分欠損の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 4. 部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーソナルデンチャーP27-34, 42-48, 54-69, 213-217</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	伊藤 誠康
2014/11/11 (火) 3時限 13:00～14:30	フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために上下顎間関係の記録を行うことができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を咬合器に付着することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得ができる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目（フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 3時限 13:00～14:30	フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/11 (火) 4時限 14:40～16:10	フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために上下顎間関係の記録を行うことができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を咬合器に付着することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得ができる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目（フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/18 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列を行うために必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 3. 局部床義歯の人工歯排列を説明できる。 4. 部分床義歯の床形態を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーソナルデンチャーP35-48, 218-234</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列	5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	伊藤 誠康
2014/11/18 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。  【準備学習項目】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成  【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 人工歯の選択・排列・削合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 サ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。  【準備学習項目】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成  【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 人工歯の選択・排列・削合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 サ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	*⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/25 (火) 2時限 10:40～12:10	有床義歯補綴学平常試験 (平常試験⑤)	<p>【授業の一般目標】 7/15～11/18での座学の範囲に関する知識を習得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 7/15～11/18でのSBOsすべて</p> <p>【準備学習項目】 7/15～11/18での座学の範囲 実施時間は9時から50分を予定。決定次第案内する</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 ウ 作業模型の製作 エ 顎間関係の記録 オ 咬合器装着・調節 カ サベイング キ フレームワークの製作 ク 人工歯の選択・排列・削合 ケ 歯肉形成 コ 蠟義歯の試適</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	河相 安彦
2014/11/25 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 局部床義歯を製作するためにレジン重合を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。</p> <p>【準備学習項目】 人工歯排列、歯肉形成、義歯床用レジン</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回石膏埋没、スプルーイング、流蠟、レジン重合、Web-classの予習項目 (スプルーイング、埋没、流蠟、レジン流し込み)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25 (火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/25 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 局部床義歯を製作するためにレジン重合を行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。</p> <p>【準備学習項目】 人工歯排列、歯肉形成、義歯床用レジン</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回石膏埋没、スプルーイング、流蠟、レジン重合、Web-classの予習項目（スプルーイング、埋没、流蠟、レジン流し込み）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/02 (火) 2時限 10:40~12:10	床用レジンの所要性質 埋没・重合法 取り出しと研磨	<p>【授業の一般目標】 有床義歯の重合を正確に行うために必要な重合法および寸法精度に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯の重合法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P225~224 歯学生のパーソナルデンチャーP235~243</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p>	河相 安彦 石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02 (火) 2時限 10:40～12:10	床用レジンの所要性質・埋没・重合 法 取り出しと研磨	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 石井 智浩
2014/12/02 (火) 3時限 13:00～14:30	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】 試料作製・埋没・重合 (1)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために、加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンと流し込みレジンとの材料学特性を説明できる。  【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン  【学習場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーソナルデンチャーP235-242  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定する。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/02 (火) 4時限 14:40～16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】 試料作製・埋没・重合 (1)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために、加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンと流し込みレジンとの材料学特性を説明できる。  【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン  【学習場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーソナルデンチャーP235-242  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定する。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/09 (火) 2時限 10:40～12:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】 取り出し・切断 (2)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンと流し込みレジンとの材料学特性を説明できる。  【準備学習項目】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 2時限 10:40～12:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	<p>義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235～242、配布プリント</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	<p>石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 藤原 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2014/12/09 (火) 3時限 13:00～14:30	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	<p>【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235～242、配布プリント</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 藤原 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2014/12/09 (火) 4時限 14:40～16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	<p>【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235～242、配布プリント</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 藤原 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 4時限 14:40～16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科生体材料と歯科材料・器械</p> <p>D-1 素材と器械・器具の所要性質</p> <p>*①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/16 (火) 2時限 10:40～12:10	重合準備(ロウ義歯埋没・流ろう)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。</li> <li>2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。</li> <li>3. 流蟻ができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～[17] 流蟻及びレジン分離剤の塗布</p> <p>WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入)</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>5 部分床義歯による治療</p> <p>サ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>6 全部床義歯による治療</p> <p>ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p> <p>*⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	重合準備(ロウ義歯埋没・流ろう)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。</li> <li>2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。</li> <li>3. 流蟻ができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～[17] 流蟻及びレジン分離剤の塗布</p> <p>WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入)</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>5 部分床義歯による治療</p> <p>サ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	重合準備 (ロウ義 歯埋没・流ろう)	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/16 (火) 4時限 14:40～16:10	重合準備 (ロウ義 歯埋没・流ろう)	<p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～ [17] 流 蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填 入)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/01/13 (火) 2時限 10:40～12:10	完成義歯の調整・ 装着後の問題	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 完成義歯の装着時の診査項目を列挙できる。 2. 完成義歯の診査材料を述べることができる。 3. 咬合診査の方法を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のバーチャルデンチャーP244～248</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 サ 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療</p>	河相 安彦 飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 2時限 10:40～12:10	完成義歯の調整・ 装着後の問題	ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 飯島 守雄
2015/01/13 (火) 3時限 13:00～14:30	レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1.加熱重合レジンの填入ができる。 2.加熱重合レジンの重合ができる。 3.流し込レジンの填入ができる。 4.流し込みレジンの重合ができる。  【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第7章  【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填入)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 義隆 末光 義隆 弘宜 義隆 淑子
2015/01/13 (火) 4時限 14:40～16:10	レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1.加熱重合レジンの填入ができる。 2.加熱重合レジンの重合ができる。 3.流し込レジンの填入ができる。 4.流し込みレジンの重合ができる。  【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第7章  【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填入)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 義隆 末光 義隆 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 4時限 14:40～16:10	レジン填入・重合	害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/01/20 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。  【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のバーチャルデンチャーP244～248  【学習場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表  【学習方略 (LS)】 その他  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 セ 患者指導  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。 *⑪可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
2015/01/20 (火) 3時限 13:00～14:30	義歯の取り出し・ 研磨	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために義歯の取り出しと研磨を行うことができ る。  【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。  【準備学習項目】 取り出し、研磨  【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研磨、調整、Web-classの 予習項目 (床研磨、レーズによる研磨)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整 (削合) と仕上げ	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 3時限 13:00～14:30	義歯の取り出し・研磨	<p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            コ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。            *③可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2015/01/20 (火) 4時限 14:40～16:10	義歯の取り出し・研磨	<p>【授業の一般目標】            総義歯と局部床義歯を製作するために義歯の取り出しと研磨を行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。            2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。</p> <p>【準備学習項目】            取り出し、研磨</p> <p>【学習場所・媒体等】            局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研磨、調整、Web-classの予習項目（床研磨、レーズによる研磨）</p> <p>【学習方略（LS）】            実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】            第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            5 部分床義歯による治療            シ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            コ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】            E 臨床歯学教育            E-3 歯と歯周組織の常態と疾患            E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療            E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）            *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。            *③可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2015/01/27 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リライン・リベース・修理	<p>【授業の一般目標】            有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】            1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。            2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。            3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p> <p>【準備学習項目】            無歯顎補綴治療学P242～251            歯学生のパーシャルデンチャーP244～248</p> <p>【学習場所・媒体等】            301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表</p> <p>【学習方略（LS）】            その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】            301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害            6 全部床義歯による治療            サ 装着</p> <p>【国家試験出題基準（副）】            歯科医学各論            各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
2015/01/27 (火) 3時限 13:00～14:30	完成義歯の口腔内 試適・調整・装着	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために装着時の調整を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。  【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～ [23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章  【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整 (削合) と仕上げ  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整 (削合) と仕上げ  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/01/27 (火) 4時限 14:40～16:10	完成義歯の口腔内 試適・調整・装着	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために装着時の調整を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。  【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～ [23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章  【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着)  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整 (削合) と仕上げ  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整 (削合) と仕上げ  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 4時限 14:40～16:10	完成義歯の口腔内 試適・調整・装着	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/02/03 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。  【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のパーシャルデンチャーP244～248  【学習場所・媒体等】 301教室でまとめを発表  【学習方略 (LS)】 その他  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
2015/02/03 (火) 3時限 13:00～14:30	チェックバイト・ 咬合器再附着・咬 合調整・製作装置 のフィードバック	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために口腔内試適と調整を行うことができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。  【準備学習項目】 義歯調整、咬合調整  【学習場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/03 (火) 3時限 13:00~14:30	チェックバイト・咬合器再付着・咬合調整・製作装置のフィードバック	<p>各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>6 全部床義歯による治療</p> <p>サ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2015/02/03 (火) 4時限 14:40~16:10	チェックバイト・咬合器再付着・咬合調整・製作装置のフィードバック	<p>【授業の一般目標】</p> <p>総義歯と局部床義歯を製作するために口腔内試適と調整を行うことができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。</p> <p>2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。</p> <p>3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。</p> <p>4. 完成した義歯の自己評価を行う。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>義歯調整、咬合調整</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第16回口腔内装着</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>5 部分床義歯による治療</p> <p>ス 装着</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p> <p>6 全部床義歯による治療</p> <p>サ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療</p> <p>E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)</p> <p>*⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>

## クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	會田 雅啓 (クラウンブリッジ補綴学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	會田 雅啓、小林 平、若見 昌信、大村 祐史、田中 孝明、後藤 治彦、青木 直子、内堀 聡史、※増田 美樹子、※渡辺 官
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座
参考図書	クラウンブリッジテクニック 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか 医歯薬出版 歯科補綴学専門用語集 第3版 (社法)日本補綴歯科学会編 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 鈴木一臣ほか 学建書院
実習器材	保証人宛に通知済み
評価方法 (EV)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)， 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部鋳造冠の製作法を通じて、適合の良い歯冠補綴物を製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p>【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に応用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部鋳造冠の作製過程および手技を学習し、臨床に応用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものであるため、進んで学習し実習を行うこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンブリッジ補綴学の定義 クラウンブリッジ治療と健康 クラウンブリッジ治療の利益と不利益	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 クラウンの種類と特徴を理解する。 クラウンの適応症を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. クラウンの種類と特徴を述べるができる。 4. クラウンの適応症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 クラウンの種類と特徴について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2014/10/03 (金)	クラウンブリッジ	【授業の一般目標】	會田 雅啓



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00～14:30	の要件 クラウンブリッジの種類と特徴 クラウンブリッジ治療の流れ	<p>クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 ブリッジの支台装置の種類について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. ブリッジの支台装置の種類について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 ブリッジの支台装置の種類と特徴について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2014/10/03（金） 4時限 14:40～16:10	器具の配布 研究用模型の製作	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。 2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる。 4. 適切な研究用模型を製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/10（金） 2時限 10:40～12:10	支台歯形成 歯肉圧排	<p>【授業の一般目標】 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有髄歯の特徴を述べることができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 3. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 有髄歯の特徴を説明できる。 歯質の切削器具の名称と使用法について述べるができる。</p>	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 2時限 10:40~12:10	支台歯形成 歯肉圧排	<p>歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べることができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	若見 昌信
2014/10/10 (金) 3時限 13:00~14:30	支台歯形成 歯肉圧排	<p>【授業の一般目標】 支台歯形成の原則、歯髄保護の方法について理解する。 支台歯形成の手順およびクラウンの維持の理論について理解する。 各種クラウンの支台歯形態を理解する。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯形成の原則、歯髄保護の方法について説明することができる。 2. 支台歯形成の手順およびクラウンの維持の理論について述べるすることができる。 3. 各種クラウンの支台歯形態を図示できる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 支台歯形成の原則について学ぶ 歯肉圧排の目的、方法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	若見 昌信
2014/10/10 (金) 4時限 14:40~16:10	支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p>【準備学習項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 4時限 14:40～16:10	支台歯形成	<p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/17 (金) 2時限 10:40～12:10	プロビジョナルレストレーション	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. プロビジョナルレストレーションの目的について述べるができる。 2. プロビジョナルレストレーションの要件について述べるができる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べることができる。 4. 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作法、要件、使用器具について学ぶ</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。</p>	増田 美樹子
2014/10/17 (金) 3時限 13:00～14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/17 (金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 官 渡辺 美樹子 増田
2014/10/17 (金) 4時限 14:40~16:10	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。  【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 官 渡辺 美樹子 増田
2014/10/24 (金) 2時限 10:40~12:10	個人トレー 印象採得	【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について再度、理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。  【準備学習項目】 印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。  【学習場所・媒体等】 マルチメディア  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 2時限 10:40～12:10	印象採得 作業模型	<p>【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について再度、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	大村 祐史
2014/10/31 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/31 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/07 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】 作業模型の要件について理解する。 作業模型の種類と特徴について理解する。 上顎作業模型の咬合器への付着法について理解する。 上顎模型に対する下顎模型の付着法について理解する。 顎路および顎路角の調整法について理解する。 歯型の分割，調整法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型の要件について述べるができる。 2. 作業模型の種類と特徴について述べるができる。 3. 上顎作業模型の咬合器への付着法について述べるができる。 4. 上顎模型に対する下顎模型の付着法について述べるができる。 5. 顎路および顎路角の調整法について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 作業模型の要件と種類，特徴について学ぶ。 作業模型の咬合器付着の意味について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	大村 祐史
2014/11/07 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/07 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平昌 若見 信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/07 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平昌 若見 信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/14 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について理解する。 顎運動、顎路、顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b> 1. 顎関節の構造を述べるができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について説明できる。 3. 顎運動，顎路，顎路傾斜角について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて述べるができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べるができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。</p> <p><b>【準備学習項目】</b> 顎関節の構造，咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p><b>【学習場所・媒体等】</b> マルチメディア</p> <p><b>【学習方略（LS）】</b> 講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b> 301教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。</p>	田中 孝明
2014/11/14 (金) 3時限 13:00～14:30	顎運動 咬合器 咬合採得	<p><b>【授業の一般目標】</b> 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について理解する。 顎運動，顎路，顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b> 1. 顎関節の構造を述べるができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について説明できる。 3. 顎運動，顎路，顎路傾斜角について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて述べるができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べるができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。</p> <p><b>【準備学習項目】</b> 顎関節の構造，咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p><b>【学習場所・媒体等】</b> マルチメディア</p> <p><b>【学習方略（LS）】</b> 講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b> 301教室</p>	田中 孝明



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 3時限 13:00～14:30	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。</p>	田中 孝明
2014/11/14 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/21 (金) 2時限 10:40～12:10	第1回平常試験	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	會田 雅啓
2014/11/21 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/21 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) 実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/21 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) 実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/28 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスアップ 埋没 鑄造 熱処理 研磨	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 埋没材および埋没法の種類、使用方法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 2. ろう型の要件について説明できる。 3. 埋没材および埋没法の種類、使用方法について述べるができる。 4. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 5. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 6. 研磨用機器、材料について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件、埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料について学ぶ。</p>	増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスアップ 埋没 鑄造 熱処理 研磨	<p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	増田 美樹子
2014/11/28 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/28 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	コ ワックスパターン形成  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 藤木 直子 青木 聡史 内堀 官 渡辺 美樹子 増田
2014/12/05 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスアップ 埋没 鑄造 熱処理 研磨	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べるができる。 2. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べるができる。 3. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 4. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 5. 研磨用機器、材料について述べるができる。  【準備学習項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件、埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料について学ぶ。  【学習場所・媒体等】 マルチメディア  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】	増田 美樹子
2014/12/05 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。  【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボン	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 藤木 直子 青木 聡史 内堀 官 渡辺 美樹子 増田

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	ティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/05 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。  【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/12 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンの口腔内 試適 仮着 装着 術後管理	【授業の一般目標】 クラウンの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンの口腔内試適の手順を述べるができる。 2. 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 3. 合着用セメントの種類と性質について述べるができる。 4. 接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5. 術後管理の内容および重要性について述べるができる。  【準備学習項目】 クラウンの口腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。  【学習場所・媒体等】 マルチメディア  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 セ 装着  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/12 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/19 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について述べるができる。 2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。 3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について述べるができる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について述べる ことができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について述べる ことができる。  【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。  【学習場所・媒体等】 マルチメディア  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301 教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ボン ティックの選択を含む。】	田中 孝明
2014/12/19 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。  【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。  【学習方略 (LS)】 実習	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/19 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/09 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p>	田中 孝明



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。</li> <li>2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。</li> <li>3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。</li> <li>4. レジンと金属との維持機構について説明できる。</li> <li>5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。</li> <li>6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	田中 孝明
2015/01/09 (金) 3時限 13:00～14:30	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。</li> <li>2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。</li> <li>3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。</li> <li>4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/09 (金) 4時限 14:40～16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 4時限 14:40～16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陶材の築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。</li> <li>2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。</li> <li>3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。</li> <li>4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/16 (金) 2時限 10:40～12:10	築造	<p>【授業の一般目標】 無髄歯の特徴を理解する。 築造の意義について理解する。 築造法の種類について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 無髄歯の特徴を述べることができる。</li> <li>2. 築造の意義について説明できる。</li> <li>3. 築造法の種類について述べることができる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。</p>	小林 平
2015/01/16 (金) 3時限 13:00～14:30	築造 印象採得 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</li> <li>2. 適切な築造操作ができる。</li> <li>3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/16 (金) 3時限 13:00～14:30	築造 印象採得 ワックスアップ	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中田 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2015/01/16 (金) 4時限 14:40～16:10	築造 印象採得 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【準備学習項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中田 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2015/01/23 (金) 2時限 10:40～12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 クラウンブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 治療計画の立案に必要な情報の収集できる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. クラウンブリッジ領域における感染予防対策について述べるることができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 a スタンダードプレコーション&lt;標準予防策&gt;</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 b 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性菌</p>	<p>小林 平</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 2時限 10:40～12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	c 医療廃棄物処理 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 イ 検査 ウ 診断 エ 治療計画の立案  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 *⑥必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 *⑦患者のプライバシーに配慮できる。 *⑧患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	小林 平
2015/01/23 (金) 3時限 13:00～14:30	レジン築造 支台歯形成 プロビジョナル レストレーション	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。  【準備学習項目】 築造について学ぶ。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション  【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/23 (金) 4時限 14:40～16:10	レジン築造 支台歯形成 プロビジョナル レストレーション	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。  【準備学習項目】 築造について学ぶ。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 4時限 14:40～16:10	レジン築造 支台歯形成 プロビジョナル レストレーション	ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション  【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/30 (金) 2時限 10:40～12:10	インフォームド コンセント	【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的な考え方について理解する。 インフォームドコンセントの成立要件について理解する。 インフォームドコンセントを普及させるための工夫について理解する。 説明文書、同意文書の記載上の注意点について理解できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。 2. インフォームドコンセントの成立要件について述べることができる。 3. インフォームドコンセントを普及させるための工夫について説明できる。 4. 説明文書、同意文書の記載上の注意点について述べることができる。  【準備学習項目】 インフォームドコンセントの重要性について学ぶ。  【学習場所・媒体等】 マルチメディア  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン  【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守  【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 ⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。	小林 平
2015/01/30 (金) 3時限 13:00～14:30	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。  【準備学習項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。  【学習方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 第5実習室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/30 (金) 4時限	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる	會田 雅啓 小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:40～16:10	支台歯形成	<p>適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b> 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p><b>【準備学習項目】</b> 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。</p> <p><b>【学習方略（LS）】</b> 実習</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b> 第5実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b> 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/02/06（金） 1時限 09:00～10:30	第2回平常試験	<p><b>【学習方略（LS）】</b> 講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b> 301教室</p>	會田 雅啓
2015/02/06（金） 2時限 10:40～12:10	平常試験解説	<p><b>【学習方略（LS）】</b> 講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b> 301教室</p>	會田 雅啓

## 顎口腔系の機能学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯科補綴学をよりよく理解するために、基本的な用語と咬合の概念を知る。
担当教員	川良 美佐雄、小見山 道、浅野 隆、鈴木 浩司、飯田 崇、河相 安彦
教科書	歯科補綴学専門用語集第3版 公益社団法人 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版株式会社
評価方法 (EV)	平常試験（平常試験①～⑥の平均：50%）、 実習（補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%） 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	顎口腔系の機能学では、歯科補綴学を理解するうえで必須の基本用語を解説します。それらは全く初めての聞きなれない専門用語ですが、生涯使用する言葉となります。できるだけ平易に解説を試みますので、この機会に修得してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04（金） 1時限 09:00～10:30	下顎運動の機能と解剖	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連について説明できる 2. 下顎の限界運動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連 下顎の限界運動</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能（咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 ウ 顎関節の機能 オ 咀嚼</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/11（金） 1時限 09:00～10:30	咬合と下顎位	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/18 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学習項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/25 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎運動の決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 2. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学習項目】 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準となる基準点・基準面 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式	川良 美佐雄 小見山 道



日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合と下顎運動の 決定要素	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/09 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合の概念	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合様式を挙げ説明できる。 2. 咬合器の目的を説明できる。  【準備学習項目】 咬合様式の名称と内容 咬合器の目的  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/23 (金) 1時限 09:00～10:30	顎機能の検査 (1)	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動の検査方法を挙げ説明できる。 2. 咬合診査の方法を挙げ説明できる。 3. 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法を挙げ説明できる。 4. 咀嚼機能の検査方法を挙げ説明できる。  【準備学習項目】 下顎運動の検査方法 咬合診査の方法 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法 咀嚼機能の検査方法  【学習方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査 ケ 下顎位検査 コ 下顎運動検査 サ 顎関節・筋機能検査 シ 舌運動・舌圧検査 ス 咀嚼機能検査 セ 咬合力検査  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2014/05/30 (金)	顎機能の検査 (2)	【授業の一般目標】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	顎機能の検査(2)	<p>適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 顎関節・筋機能検査を説明できる。</li> <li>2. 咬合力・咬合接触面積・接触点の検査を説明できる。</li> <li>3. 舌運動・舌圧の検査を説明できる。</li> <li>4. 鼻咽腔閉鎖機能検査を説明できる。</li> <li>5. 構音機能検査を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学習項目】</p> <p>顎関節・筋機能検査 咬合力・咬合接触面積・摂食点の検査 舌運動・舌圧の検査 鼻咽腔閉鎖機能検査 構音機能検査</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論IX 検査</p> <p>1 口腔内検査・口腔機能検査</p> <p>サ 顎関節・筋機能検査</p> <p>シ 舌運動・舌圧検査</p> <p>セ 咬合力検査</p> <p>タ 構音機能検査</p> <p>チ 鼻咽腔閉鎖機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>*⑤顎関節の構造と機能を説明できる。</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*②舌の構造と機能を説明できる。</p> <p>*⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2014/06/06(金) 1時限 09:00～10:30	顎口腔系の機能学 平常試験 (平常試験②)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>4/4～5/23の顎口腔系の機能学の座学の範囲に関する知識を修得する</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 4/4～5/23の顎口腔系の機能学のSBOsすべて</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>4/4～5/23の顎口腔系の機能学の座学の範囲</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*③歯列と咬合について説明できる。</p> <p>*⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p> <p>*⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道